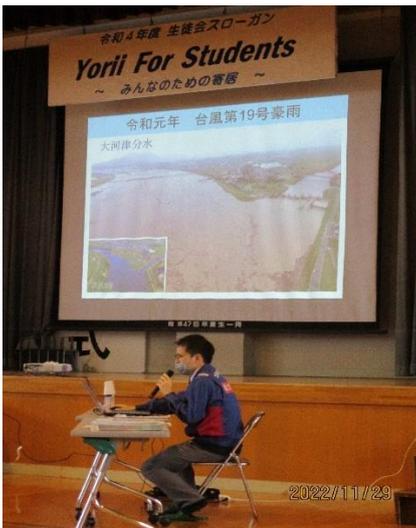


寄居中 コネクト通信

寄居中学校区にお住いの皆さん、寄居中学校保護者の皆さん、新年あけましておめでとうございます。今年もご指導のほどよろしくお願いいたします。

「防災力アップ講座」レポート

2022年11月29日(火)と12月13日(火)の二日間にわたり、地域と学校パートナーシップ事業のひとつ「防災力アップ講座」を開催しました。寄居中学校の一学年生徒の皆さんと地域の有志の方々に参加していただきました。



令和元年の台風による被害の様子
の写真を見ながらの講習。この時は長岡などでも被害がありました。

第一回目は信濃川下流河川事務所様をお迎えし、近年多発している豪雨や水害について学びました。私たちの住む地域には信濃川があります。1896年7月22日(126年前です!)に発生した信濃川の堤防決壊による洪水『横田切れ』から、昨年(2022年)の8月3日から4日に発生した村上市での豪雨水害にまで話が及びました。

後半には、想定された内容に対して「自分だったらどのような行動をとるか?」を実際に考えてみるワークショップを行いました。地域の方々にも入っていただき、中学生と地域の大人がコミュニケーションしながら災害について想像してみることができました。講師の間島さんによると「**正解はないので、自分の身に引き寄せて考えてみるのが大事**」とのことでした。

ハザードマップには複数の種類があること、また想定事案に小さな情報(自分の家の前の道が狭い等)は想定の中に組み込まれないため、絶対ではないこと...など災害時の情報の見方も教えていただきました。

ニュースなどで「逃げてください」と言われてから準備などをすればいいと思っていたが、今回の講座で早めにやる準備やどこに逃げるかを考えることが非常に大切だと思いました。

色々な災害では中学生がとても役立つことが岩手県の釜石の中学校の話聞いてよくわかりました。

ここは絶対大丈夫と思い込まずに警戒をした方がいいということが学べてよかったです



《令和元年 台風第19号豪雨》
信濃川(千曲川)上流の長野県で堤防が決壊し、約12時間後、大洪水となって大河津分水路に到着しました。

裏面に続きます👉

“生徒さんの感想より”

第二回目は新潟市中央区の「ハイパージュニアレスキュー講習会」のプログラムを用いて、防災士さんより直接指導していただきました。校内で5か所にブースを設置し、小グループごとに回りました。実際に体を動かし、体験しながら学べたことで知識がより身についたのではないかと思います。

ハイパージュニアレスキュー・プログラム

- ① 簡易ベッドの組み立て
- ② 簡易トイレの設置・使い方
- ③ 避難所間仕切りの設置方法
- ④ 発電機及び投光器の使い方
- ⑤ 簡易担架の作り方



《発電機の起動の仕方》

機材を押さえたり、作業を複数で確認しながら行うと間違いも防げてグッドですね。



☞ 《毎年関心の高い簡易トイレ》

「避難所についたら、まずはホッとしてそのあとトイレに行きたくなります」「トイレが一番大事！」というシンプルで分かりやすい説明に、みんな納得しながら聞いていました。

今年は地域の民生委員・児童委員さんにも参加していただきました。簡易担架を体験しています。実際に乗るのはちょっと怖い!?



編集後記☆一年生は7月に防災の視点で地域を視察し、今回は災害について学び、避難所で役立つ事を学んで、いざという時に活躍できる人になりました。頼りにしてます～(田村)☆パンデミックがあろうとなかろうと水害や地震等で被災すれば、まったなし!です。これからも地域の方々と一緒に防災&減災について連携したいです(高橋)